[省令第8条の4の5(1,000トン以上排出事業者用)]

事業場の名称 前田建設工業株式会社東京土木支店

様式第2号の8(第8条の4の5関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画書

令和6 年 6 月 26 日

(宛先) 長野市長 荻原 健司

提出者

住 所 東京都千代田飯田橋1-12-7 氏 名 前田建設工業株式会社東京土木支店 執行役員支店長 小島 靖雅 (法人にあっては、名称及び代表者の氏 名)

電話番号 03-3222-0980

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他 その処理に関する計画を作成したので、提出します。

,	,,,	~~										
事	業 :	場の	所 在	地	東京都千代田飯田橋1-12-7							
計	Ī	画	期	間	令和6年4月1日 ~ 令和7年3月31日							
当書	亥事	業場	におい	て現	に行っている事業に関する事項							
	1	事 業	きの 種	重類	総合建設業							
	2	事 業	きの規	見模	完工高 300.2億							
	3	従	業 員	数	263名							
					<別紙>廃棄物処理フローによる。							
			廃棄物処理□									

(日本産業規格 A列4番)

(第2面) 産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項 (管理体制図) <別紙>管理体制図による。 産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 汚泥(上·下水、 廃プラスチック 金属くず ガラス・コンク がれき類(コンク 産業廃棄物の種類 リート・陶磁器く 建設、その他) (廃タイヤ、発泡 リがら、廃アス 物(安定型、管 排出量 119.35t 14.28t 0.57t 0.70t 3, 106. 29t 12.38t 紙くず 木くず 石綿含有産業 産業廃棄物の種類 廃棄物 ①現状 排出量 6.66t 0.24t 13.04t (これまでに実施した取組) *全ての作業所がゼロエミッションに取り組み、発生抑制・排出抑制を実施。 *計画的な資材搬入を徹底し、余剰材による産廃搬出を抑制。 *現場に破砕機を設置し、伐採樹木の運搬効率と減容化を向上。 *無梱包、省梱包を取引業者に徹底し、梱包材による産廃発生を抑制。 *現場搬入資材のプレカットをルール化し、不要材の発生を抑制。 【目標】 汚泥(上・下水、 廃プラスチック 金属くず ガラス・コンク がれき類(コンク 建設混合廃棄 産業廃棄物の種類 リート・陶磁器く 建設、その他) (廃タイヤ、発泡 リがら、廃アス 物(安定型、管 排出量 117.00t 0.50t 3,043.00t 12.00t 13.00t 0.60t 紙くず 石綿含有産業 木くず 産業廃棄物の種類 廃棄物 排出量 5.00t 0.20t 12.00t ②計画 (今後実施する予定の取組) *上記"①現状"の各項目を、引き続き継続して取り組んでゆく。 産業廃棄物の分別に関する事項 (分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) *全ての作業所に於いて、8品目以上の分別をルール化し実践している。 *協力会社・取引業者を加えた環境教育を実施し分別意識の向上を図っている。 ①現状 (今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) *上記"①現状"の各項目を、引き続き継続して取り組んでゆく。 ②計画

自ら行う産業	廃棄物の再生利用に関する事項													
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、 建設、その他)	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管							
	自ら再生利用を行った	建 版(() 他/	()671 ()675) 1 Pag Raa HII (770 50 100 77	が、文文主、日							
	産業廃棄物の量	石綿含有産業		木くず										
	産業廃棄物の種類	石 柿 呂 有 座 未 廃棄物	紅く9	本 く9										
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量													
	(これまでに実施した取組)		<u> </u>		1									
	 <該当なし>													
	へ吸当なし/													
		汚泥(上・下水、	廃プラスチック	金属くず	ガラス・コンク	がれき類(コンク	建設混合廃棄							
	産業廃棄物の種類	建設、その他)	(廃タイヤ、発泡	<u> </u>	リート・陶磁器く	リがら、廃アス	物(安定型、管							
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量													
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業 廃棄物	紙くず	木くず										
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量													
	(今後実施する予定の取組)													
	 <該当なし>													
	へ該当なしと													
+ > /- > + N/A														
目ら行う産業	廃棄物の中間処理に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】													
		汚泥(上·下水、	廃プラスチック	金属くず	ガラス・コンク	がれき類(コンク	建設混合廃棄							
	産業廃棄物の種類自ら熱回収を行った	建設、その他)	(廃タイヤ、発泡		リート・陶磁器く	リがら、廃アス	物(安定型、管							
	自 ら 熱 回 収 を 行 っ た 産 業 廃 乗 物 の 量													
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量													
	産業廃棄物の量 産業廃棄物の種類	石綿含有産業	紙くず	木くず										
		廃棄物												
①現状	自 ら 熱 回 収 を 行 っ た 産 業 廃 乗 物 の 量													
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量													
	産業 栗物の量 (これまでに実施した取組)													
	<該当なし>													
	【目標】													
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、 建設、その他)	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃棄物(安定型、管							
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量													
	産業廃棄物の量自ら中間処理により減量する													
	産業廃棄物の量	了约 会去去册	64.7 -12.	+/-										
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業 廃棄物	紙くず	木くず										
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量													
	自ら中間処理により減量する													
	産業廃棄物の量													
	(今後実施する予定の取組)													
	<該当なし>													

	【前年度(令和5年度)実績】 「病泥(ト・下水、 摩ブラスチック ・金属くず・ ガラス・コンク がれき類(コンク 建設混合摩													
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、 建設、その他)	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	ガラス・コンクリート・陶磁器く	がれき類(コンクリがら、廃アス	建設混合廃物(安定型、							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った産業廃乗物の量													
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業 廃棄物	紙くず	木くず										
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行った産業廃棄物の量													
	(これまでに実施した取組)													
	<該当なし>													
	【目標】													
	産業廃棄物の種類	汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	ガラス・コンク リート・陶磁器く	がれき類(コンク リがら、廃アス	建設混合廃物(安定型、							
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量													
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業 廃棄物	紙くず	木くず										
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を 行 う 産 業 廃 棄 物 の 量													
	(今後実施する予定の取組)													
	<該当なし>													
業廃棄物の	処理の委託に関する事項													
業廃棄物の		汚泥(上・下水、建設、その他)	廃プラスチック (廃タイヤ、発泡	金属くず	リート・陶磁器く		建設混合廃物(安定型、							
業廃棄物の	処理の委託に関する事項 【前年度(令和 5 年度)実績】		(廃タイヤ、発泡スチロール会	金属ぐず 0.57t	リート・陶磁器くず(石膏ボード含	リがら、廃アス ファルト レンガ								
業廃棄物の	処理の委託に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類	建設、その他)	(廃タイヤ、発泡スチロール会		リート・陶磁器く ず(石膏ボード含 0.70t	リがら、廃アス ファルト レンガ 3, 106. 29t	物(安定型、 理型) 12.3							
業廃棄物の	処理の委託に関する事項 【前年度(令和5年度)実績】 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への	建設、その他)	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 14.28t	0. 57t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード含 0.70t 0.70t	リがら、廃アス ファルト レンガ 3, 106. 29t 0. 89t	物(安定型、 理型) 12.3							
業廃棄物の	 処理の委託に関する事項 【前年度 (令和5年度) 実績】 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への処理委託量 再生利用業者への 	建設、その他) 119.35t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 14.28t	0. 57t 0. 57t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード含 0.70t 0.70t	リがら、廃アス ファルト レンガ 3, 106. 29t 0. 89t	物(安定型、 理型) 12.3 12.3							
業廃棄物の	 処理の委託に関する事項 【前年度 (令和5年度) 実績】 産業廃棄物の種類 全処理委託量 優良認定処理業者への量 再生利用業者託へ量 取定熱回収業者への 	建設、その他) 119.35t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 14.28t	0. 57t 0. 57t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード含 0.70t 0.70t	リがら、廃アス ファルト レンガ 3, 106. 29t 0. 89t	物(安定型、 理型) 12.3 12.3							
		建設、その他) 119.35t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 14.28t	0. 57t 0. 57t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード含 0.70t 0.70t	リがら、廃アス ファルト レンガ 3, 106. 29t 0. 89t	物(安定型、 理型) 12.3 12.3							
業廃棄物の		建設、その他) 119.35t 119.35t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 14. 28t 14. 28t 14. 28t	0. 57t 0. 57t 0. 57t	リート・陶磁器く ず(石膏ボード含 0.70t 0.70t	リがら、廃アス ファルト レンガ 3, 106. 29t 0. 89t	物(安定型、 理型) 12.3 12.3							
		建設、その他) 119.35t 119.35t 石綿含有産業 廃棄物	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 14. 28t 14. 28t 14. 28t	0. 57t 0. 57t 0. 57t	リート・陶磁器く ず(石巻ボード含 0. 70t 0. 70t	リがら、廃アス ファルト レンガ 3, 106. 29t 0. 89t	物(安定型、 理型) 12.3 12.3							
		建設、その他) 119.35t 119.35t 石綿含有産業 廃棄物	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 14. 28t 14. 28t 14. 28t 14. 28t 0. 24t	0. 57t 0. 57t 0. 57t 13. 04t	リート・陶磁器く ず(石憲式一ド全 0.70t 0.70t	リがら、廃アス ファルト レンガ 3, 106. 29t 0. 89t	物(安定型、 理型) 12.3 12.3							
		建設、その他) 119.35t 119.35t 石綿含有産業廃棄物 6.66t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 14. 28t 14. 28t 14. 28t 14. 28t 0. 24t	0. 57t 0. 57t 0. 57t 13. 04t 13. 04t	リート・陶磁器く ず(石憲式一ド全 0.70t 0.70t	リがら、廃アス ファルト レンガ 3, 106. 29t 0. 89t	物(安定型、 理型) 12.3 12.3							
	処理の委託に関する事項 【前年度 (令和5年度) 実績】 産業廃棄物の種類 全処理 良理 再処委業 裏型 再処を要業 裏型 再処を要素 裏型 の量の量の量 変数 変数 産業 産業 企 要素 要要 要素 要 要素 要素 要素 要素 要要 要素 要 要 要 要 要 要 要 要 要 事 要 要 全 要 要 要 要 要 要 要 要 要 要	建設、その他) 119.35t 119.35t 石綿含有産業廃棄物 6.66t	(廃タイヤ、発泡 スチロール会 14. 28t 14. 28t 14. 28t 14. 28t 0. 24t	0. 57t 0. 57t 0. 57t 13. 04t 13. 04t	リート・陶磁器く ず(石憲式一ド全 0.70t 0.70t	リがら、廃アス ファルト レンガ 3, 106. 29t 0. 89t	物(安定型、 理型) 12.3 12.3							

	【目標】 汚泥(上・下水、 廃プラスチック 金属くず ガラス・コンク がれき類(コンク 建設混合廃棄物													
	産業廃棄物の種類	建設、その他)	(廃タイヤ、発泡 スチロール含	亚周()	リート・陶磁器く ず(石膏ボード含	リがら、廃アス	(安定型、管理 型)							
	全処理委託量	117. 00t	13. 00t	0.50t	0.60t	3, 043. 00t	12. 00 ⁻							
	優良認定処理業者への処理委託量													
	再生利用業者への処理委託量													
	認定熱回収業者への処理委託量													
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者へ処理委託量													
	産業廃棄物の種類	石綿含有産業廃 棄物	紙くず	木くず										
	全処理委託量	5.00t	0. 20t	12. 00t										
②計画	優良認定処理業者への処理委託量													
	再生利用業者への処理委託量													
	認定熱回収業者への処理委託量													
	認定熱回収業者以外の熱回収を 行う業者へ処理委託量													
	(今後実施する予定の取組)													

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
 - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- (2) ②欄には、製造業の場合における製造品出荷額(前年度実績)、建設業の場合における元請完成工事高(前年度実績)、医療機関の場合における病床数(前年度末時点)等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
- (3) ④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程(当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。)を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者)への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者(廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者)である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が12以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物処理計画書(産業廃棄物の実績及び計画の量)

	処 理 事			産業廃棄物の種類(実績値・計画値)											
			事項	汚泥(上・ 下水、建 設、その	廃プラス チック(廃 タイヤ、 発泡スチ	金属くず	ガラス・ コンク リート・ 陶磁哭	がれき類 (コンクリ がら、廃 マスファ	建設混合 廃棄物(安定型、管理刑)	石綿含有 産業廃棄 物	紙くず	木くず			合 計
HE 山·	排出抑制に関する事項		前年度排出量(実績)	119.35t	14. 28t	0. 57t	0. 70t	3, 106. 29t	12. 38t	6.66t	0. 24t	13. 04t			3, 273. 4 9t
排血			本年度排出量(計画)	117. 00t	13. 00t	0. 50t	0. 60t	3, 043. 00t	12. 00t	5. 00t	0. 20t	12. 00t			3, 203. 30t
	自ら行う(行った) 再生利用に関する事項		前年度実績												
再生			本年度計画(目標)												
自ら		自ら行う (行った)	前年度実績												
(行っ 中間:	た)	熱回収の量	本年度計画(目標)												
に関	at スート	自ら中間処理 こより減量	前年度実績												
事項	9	する(した)量	本年度計画(目標)												
		うた) 埋立 洋投入処分	前年度実績												
	する事項		本年度計画(目標)												
	è処理委	· 红 阜	前年度実績	119.35t	14. 28t	0. 57t	0. 70t	3, 106. 29t	12. 38t	6.66t	0. 24t	13. 04t			3, 273. 4 9t
	上处垤女	(前里	本年度計画(目標)	117. 00t	13. 00t	0. 50t	0. 60t	3, 043. 00t	12. 00t	5. 00t	0. 20t	12. 00t			3, 203. 30t
理	優良認	定処理業者	前年度実績		14. 28t	0. 57t	0. 70t	0.89t	12. 38t		0. 24t	13. 04t			42. 08t
の 委	への処	:理委託量	本年度計画(目標)												
処理の委託に	再生利	用業者	前年度実績	119.35t	14. 28t	0. 57t	0. 70t	3, 106. 29t	12. 38t	6.66t	0. 24t	13. 04t			3, 273. 51t
に 関 す	への処	:理委託量	本年度計画(目標)												
する		·回収業者	前年度実績												
る事	への処	:理委託量	本年度計画(目標)												
		回収業者以外 収を行う業者	前年度実績												
		収を打り来る 理委託量	本年度計画(目標)							_					

【記載方法】

- 各産業廃棄物の種類ごとに該当の箇所の上段に前年度の実績(現状)を、下段に本年度の目標(計画)の産業廃棄物の量を記載してください。
- 「自ら行う再生利用に関する事項」の欄は、自ら直接再生利用した量と中間処理した後再生利用した量を記載してください。
- 「自ら行う埋立処分又は海洋投入処分に関する事項」は、自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量と自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量を 記載してください。
- ・ 「処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量及びそれぞれの内訳を記載してください。